

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和04年08月16日

計画の名称	大規模盛土造成地の耐震化の促進（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	大洲市												
計画の目標	大洲市では、平成30年度に実施した、大規模盛土造成地の変動予測調査（第1次スクリーニング）により、大規模盛土造成マップを公表した。 さらなる、防災対策のため、現地調査による危険個所の把握（第2次スクリーニング）を実施し、危険個所を把握することで災害の未然防止や被害の軽減を図る。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	10	A	10	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
1	現地調査による危険個所の把握（第2次スクリーニング）（造成年代調査N=25箇所、現地踏査N=25箇所、優先度評価N=25箇所）を実施する。	R2	R2	R2未
	現地調査による危険個所の把握（第2次スクリーニング）（造成年代調査N=25箇所、現地踏査N=25箇所、優先度評価N=25箇所）を実施する。	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	大洲市	直接	大洲市	-	-	宅地耐震化推進事業	第2次スクリーニング(現地調査による危険個所の把握)	大洲市						10	-	
											小計						10		
											合計						10		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
社会資本整備総合交付金事業の事後評価として大洲市で実施	令和4年8月
	公表の方法
	大洲市ホームページで公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニングにより明らかになった大規模盛土造成地について、変動予測調査（造成年代調査、現地調査、優先度評価）を実施し、第二次スクリーニング計画を公表して住民等へ情報を提供することにより、地震等による災害の未然防止や被害の軽減に寄与する。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
第二次スクリーニングを実施し、防災意識の向上を図り、地震等による災害の未然防止や被害の軽減につなげる。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	100%
	最終実績値	100%

位置図

